

第11回日本禁煙科学会学術総会in京都 より

2年連続で優秀演題賞を受賞

NPO法人禁煙ネット石川

副理事長 福田太睦

第11回日本禁煙科学会学術総会が、『禁煙科学の10年:新たな歴史と価値の創造に向けて』をテーマに、10月29日、30日の2日間にわたり、京都大学医学部芝蘭会館で開催され、禁煙ネット石川から遠藤理事長、会員の安田幸子氏と私が参加しました。

会長は中山建夫京都大学医学部教授、全国より370余名が参加し多くの発表がされました。

遠藤理事長から「金沢市における宿泊施設の禁煙対策 — 新幹線開業前後の変化」のタイトルで、平成22年の調査値と比較した昨年の調査結果について発表をされ、翌日の閉会式で優秀演題賞を頂きました。

前回の小学校での喫煙防止教育の効果をテーマに発表した、成人式での喫煙アンケートの推移に続き2年連続の受賞となりました。

想えば10年前、第1回日本禁煙科学会学術総会がこの京都大学医学部でスタートをし、岩城先生、中島素子先生と3名で出席しました。

以来、地方初めて第4回の開催を金沢に誘致し、北は岩手、南は沖縄迄まわり、一旦元の京都に戻りました。

来年の第12回は島根です。お陰様で私は第一回以来、全部に参加出来、大変勉強になりました。

